

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	町有林管理委託事業				開始年度		
基本目標	環境にやさしい林業の振興				終了年度		
担当課(局)	産業振興課	担当係	農林畜産係	記入者	山本 勇樹	評価者	長町 信幸
21年度決算	214	千円	22年度予算	215	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	2,156 千円		22年度人件費	2,185 千円		事業従事者数	0.30 人 0.30 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	町有林の保護、管理による自然災害防止。
事業の内容	町有山林に植栽したケヤキ、イチイガシの幼齢木の適正な保護育成のため児湯広域森林組合に下刈を委託する。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 下刈の実施箇所	植栽した苗木の生育を妨げる雑草や灌木を刈り払う。
	2 下刈の委託回数	下刈を森林組合に委託する(大平寺・職司)。
	3 -	-
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 下刈の実施確認	下刈実施箇所の着手前後の確認(写真撮影)。
	2 大平寺の下刈実施面積	下刈面積確認(下刈は森林組合に委託)。
	3 職司の下刈実施面積	下刈面積確認(下刈は森林組合に委託)。

◎達成状況

		指標名	単位	20年度	21年度	22年度
成果指標	下刈の実施箇所	目標値	回	2	2	2
		実績値		2	2	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	下刈の委託回数	目標値	回	2	2	2
		実績値		2	2	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
-	目標値					
	実績値					
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標	下刈の実施確認	目標値	回	4	4	4
		実績値		4	4	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	大平寺の下刈実施面積	目標値	m ²	11,600	11,600	11,600
		実績値		11,600	11,600	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	職司の下刈実施面積	目標値	m ²	3,400	3,400	3,400
		実績値		3,400	3,400	
		達成率	%	100.0%	100.0%	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	町の財産であることから管理者である町が行うべき事業。事業を廃止した場合、植栽したケヤキ、イチイガシが幼齢木のため、下層植生の影響による生育遅延や病害虫被害を受ける恐れがある。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	植栽したケヤキ、イチイガシの幼齢木が順調に生育しており、将来、町有林の土砂災害防止に資することが見込まれる。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	平成19年度当初予算査定で事業費が1/2に削減されており、事業遂行上、これ以上の削減は困難。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	現地が傾斜地であり、危険性を伴うので適当ではない。

事務事業名	町有林管理委託事業	担当課(局)	産業振興課
-------	-----------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	町有林の保護管理による自然災害防止のためには必要な事業である。	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充				○
				現状維持				
				縮小				
				廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充		
			コスト					

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎町有林の管理は大変必要な事業である。特殊な分野であるので、現状の管理し かないと判断するが、将来の町有林管理も含めて、内容の検討に入る時期ではない か。 ◎「町有林管理委託事業」と「町有林看守事業」は、ひとつの事業として評価を行うほ うが良い。
	コスト	現状維持	